

報告事項2 2022年度事業計画案

■2022年度事業計画

I. 事業方針

当推進委員会では、大阪府及び大阪市において2021年3月に策定された「2025年大阪・関西万博出展参加基本構想」に基づき、“「人」は生まれ変わる”、“新たな一步を踏み出す”という意味を込めた「REBORN」をテーマに、産学官が一体になって、大阪・関西万博への出展参加に向けた取り組みを進めている。

大阪パビリオンは「世界に貢献する大阪の姿を示す」「大阪のパワーを世界に発信する」ことをめざしているが、パビリオンのマスタープランとなる「2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画」（以下「基本計画」という。）を2022年3月に策定した。

2022年度は、基本計画に基づき、建築、展示、行催事、運営とこれらにかかる財源確保、レガシーの利活用など、より具体的な計画の策定、実行に向けた準備、調整を進める。また、パビリオンの建設、展示、運営、資金管理等の実行業務を担当する社団法人の設立に向けた準備を行う。

II. 基本計画に基づく検討

1. 基本計画の実現にむけた全体の企画管理、総合調整

出展参加テーマである「REBORN」の具体化とともに、万博で実現をめざす「SDGs」の目標達成を先導するという趣旨を踏まえながら、テーマ展開や事業推進の方向性、パビリオンのゾーニングやバーチャルも含めたコンテンツの検討などについての総合調整を行い、全体スケジュールを管理する。

2. 実施計画と出展準備の推進

① 展示計画

展示基本方針に基づき、展示構成やストーリーの調整、設計・制作、ライドの詳細設計、バーチャル大阪館（仮称）の推進等に取り組む。

② 建築計画

2023年4月建築工事着工に向け、基本設計及び実施設計に取り組む。また、ECI方式による施工予定者を公募・選定する。

③ 行・催事計画

行催事基本方針に基づき、大阪パビリオン内外の行催事スペースやバーチャル空間を最大限に活用しながら様々なプログラムの最適化を図るため検討を進める。

④ 商業活動計画

商業活動事基本方針に基づき、物販、飲食、その他サービスの提供について具体的な検討に取り組む。

⑤ 広報計画

広報基本方針に基づき、広報の具体化に取り組む。

⑥ 運営計画

運営基本方針に基づき、運営組織体制や接遇計画等の運営計画を検討する。

⑦ 財務計画

財務基本方針に基づき、展示計画・建築計画・運営計画等を踏まえ、建築関連費用、運営関連費用、展示関連費用について、公費負担・協賛・寄附のそれぞれが充当されるべき費用を整理し財務計画を立案するとともに協賛・寄附の獲得に努める。

⑧ レガシー

レガシー基本方針に基づき、ハードレガシー及びソフトレガシーについて、具体的な事業内容等の検討を進めていく。

3. 実行法人の設立準備

基本計画に基づき、推進体制の強化を図るため、パビリオンの建設、展示、運営、資金管理等の実行業務を担当する一般社団法人の設立に向けた準備を進める。